
現場 Plus

リリースノート

2023 年 7 月更新版

元請ユーザー様向け

改善項目一覧

1. Log System 連携（新機能）	3
1-1 Log System 連携の有効化	3
1-1-1 アプリ連携コードの発行（Log System での操作）	4
1-1-2 連携設定有効化（現場 Plus での操作）	5
1-2 現場ごとの連携設定	6
1-2-1 現場新規作成時	6
1-2-2 既存の現場と Log System 現場との連携設定	7
1-2-3 Log System の既存現場を選択	8
1-3 連携済み現場の機能	9
1-3-1 連携中の現場情報画面	9
1-3-2 現場情報の自動連携	9
2. 機能アイコン設定（画面下部の各種アイコンの設定）	10
2-1 機能アイコンの表示・非表示、並べ替えに対応	10
3. 入退場	12
3-1 入場後の KY 活動の表示・編集	12
3-1-1 入退場ダッシュボードの入場中タブ	12
3-1-2 入退場ダッシュボードの入場履歴タブ	13
3-2 同日中の複数回入退場	14
3-2-1 現場ごとの入退場履歴	14
3-2-2 入退場履歴検索	15
3-2-3 入退場ダッシュボードの入場履歴タブ	15
3-2-4 同日 2 回目以降の入場時に KY 活動の入力設定	16
3-2-5 Excel 出力	16
3-3 入退場履歴の自動ロック	17
3-4 入退場時の通知対応	18
3-4-1 メール・アプリ通知受信設定	18
3-4-2 通知例	18
4. 写真・図面・書類	19
4-1 注釈登録時のトーク通知	19
4-1-1 注釈登録確認	19
4-1-2 宛先ユーザー選択	20
4-1-3 トーク詳細画面	21
4-2 写真台帳 Excel 出力	21
5. 工程表	22
5-1 編集ボタン	22
5-2 マイルストーンの編集	23
5-2-1 名前の編集	23
5-2-2 日付の編集	24

6. トーク	25
6-1 非公開現場でのトーク	25
6-2 トーク検索	25
7. 点検	26
7-1 チェックリストの分類をすべて「該当なし」にする	26
8. ダッシュボード	27
8-1 所属元請グループ担当現場	27
9. 現場カレンダー	28
10. 一括取込	29
10-1 一括取込履歴一覧画面の表示	29
10-2 一括取込履歴詳細画面の表示	30
11. ストレージ使用量	31
11-1 ストレージ使用量の再集計	31
12. その他	32
12-1 Android アプリ（最新バージョン 1.23.0700）	32
12-2 iOS アプリ（最新バージョン 1.23.0700）	32
12-2-1 未アップロードの撮影写真の復元	32
12-3 縦横断工程表	32
12-4 不具合の修正	33

1. Log System 連携（新機能）

- 株式会社 log build(<https://www.log-build.com/>) が提供する Log System(Log Walk、Log Meet、Log Kun)と現場 Plus を連携し、現場 Plus から Log System へ簡単に移動できる機能「Log System 連携」機能を追加しました。
- 連携するには、Log System、現場 Plus の双方とご契約中である必要があります。

1-1 Log System 連携の有効化

- Log System 連携を有効にするには、以下の手順を行う必要があります。
 1. Log System で「外部アプリ連携コード」を発行する。(1-1-1)
 2. 1.で発行した「外部アプリ連携コード」を現場 Plus 上で入力し、連携を有効にする。(1-1-2)
- 連携を有効にした後は、各現場ごとに連携を有効にする必要があります。(1-2)

1-1-1 アプリ連携コードの発行（Log System での操作）

① メニューから「各種設定」を選択します。

② 「外部アプリ連携設定」を選択します。

③ 「外部アプリ選択」で「現場 Plus」を選択し、「コードを発行」ボタンを押します。

④ 「外部アプリ連携コード」が発行されました。「コピー」ボタンを押してクリップボードにコピーします。

⑤ Log System 側の操作は以上です。引き続き現場 Plus 側での操作を行います。

外部アプリ名	連携状況	連携最終更新日	連携コード発行者
現場Plus	連携解除済み	2023/06/16(金) 15:30	ダイテックアカウント1

外部アプリ連携コード発行

外部アプリ連携コード: [生成されたコード]

外部アプリ連携コードの有効期限は発行から2時間です。

外部アプリ連携コードの発行をキャンセルします。 [キャンセル]

1-1-2 連携設定有効化（現場 Plus での操作）

① メニューから「初期設定」を選択します。（管理者のみ可能）

② 「アプリケーション連携設定」を選択します。

③ 「Log System との連携を有効にする」を「有効」に変更します。

④ 1-1-1 において Log System で発行した「外部アプリ連携コード」を入力します。

⑤ 「保存」ボタンを押して設定を保存します。

- 連携を有効にするには、「初期設定」－「アプリケーション連携設定」で「Log System との連携を有効にする」を「有効」にする必要があります。
- 有効化するには、Log System で発行したアプリ連携コードが必要です。（1-1-1 アプリ連携コードの発行（Log System での操作））
- 連携を有効にすると、後述する現場ごとの連携設定が表示されるようになります。

1-2 現場ごとの連携設定

1-2-1 現場新規作成時

- 現場 Plus で現場新規作成時に、Log System 側にも同名、同住所の現場を新規作成して連携することができます。
- Log System 現場を作成済みの場合はチェックを付けず、あとから連携設定を有効化することもできます。

1-2-2 既存の現場と Log System 現場との連携設定

現場情報詳細画面の「工事種別」タブ内に「Log System 連携」という項目が追加されています。

① 「編集」ボタンを押して、連携設定を変更します。

② 「連携する」にチェックを付けます。

③ 連携先 Log System 現場について、「新規作成」するか、「既存現場を選択」するかを選択します。

Log System連携

Log System連携設定

Log System連携 ☒ 連携する

連携先現場

☐ Log Systemに現場を新規作成

☐ Log Systemの既存現場を選択

選択してください

選択

保存

キャンセル

- 現場 Plus の既存の現場と Log System の現場を連携させることができます。
- 現場情報詳細画面の「工事種別」タブ内に「Log System 連携」という項目が追加されています。右上の編集ボタンを押せば連携状態を変更することができます。

1-2-3 Log System の既存現場を選択

The screenshot shows the 'Log System連携設定' (Log System Connection Settings) screen. At the top, there are buttons for 'キャンセル' (Cancel) and '保存' (Save). Below, the 'Log System連携' (Log System Connection) section has a checked '連携する' (Connect) checkbox. The '連携先現場' (Destination Site) section has two radio buttons: 'Log Systemに現場を新規作成' (Create new site in Log System) and 'Log Systemの既存現場を選択' (Select existing site in Log System). The second option is selected and highlighted with a red box. Below it is a text input field with the placeholder '選択してください' (Please select) and a '選択' (Select) button. A red arrow points from this section to a modal window titled 'Log System連携先現場の選択' (Select Log System destination site). The modal has a close button and a message: '現場名、または現場住所が一致する現場を検索しています。' (Searching for sites with matching site names or addresses). It lists one site: '品川邸 新築工事' (Shinagawa Residence New Construction) with the address '東京都品川区南大井1-1-1'. A red arrow points from this list to a second annotation box. Two red boxes with numbers 1 and 2 contain instructions in Japanese.

① 「Log System の既存現場を選択」を選択します。

② 条件に合う Log System 側現場の一覧が表示されますので、連携させたい現場を選択します。

- Log System に現場を作成済みの場合、その Log System 現場と現場 Plus 側の現場を連携させることができます。
- 連携先 Log System 現場の選択リストに表示される条件は「現場名または現場住所が一致する」となります。選択リストに表示されない場合は現場名または現場住所が一致しているか確認してください。

1-3 連携済み現場の機能

1-3-1 連携中の現場情報画面

Log System連携

連携状態 **連携中 (品川邸 新築工事)**

土地情報

現場住所 〒123-4567 東京都品川区南大井1-1-1

品川邸 新築工事

現場情報 図面 トーク 工程表 写真

掲示板 設計変更 施主 入退場 書類

点検一覧 納品管理 初期設定 ユーザーオプション

log build

連携中の現場は「Log System 連携」項目の連携状態が「連携中」になります。

画面下の機能アイコンに「log build」のアイコンが表示されます。

「連携中」のリンクやアイコンクリックで Log System 側現場を表示できます。

1-3-2 現場情報の自動連携

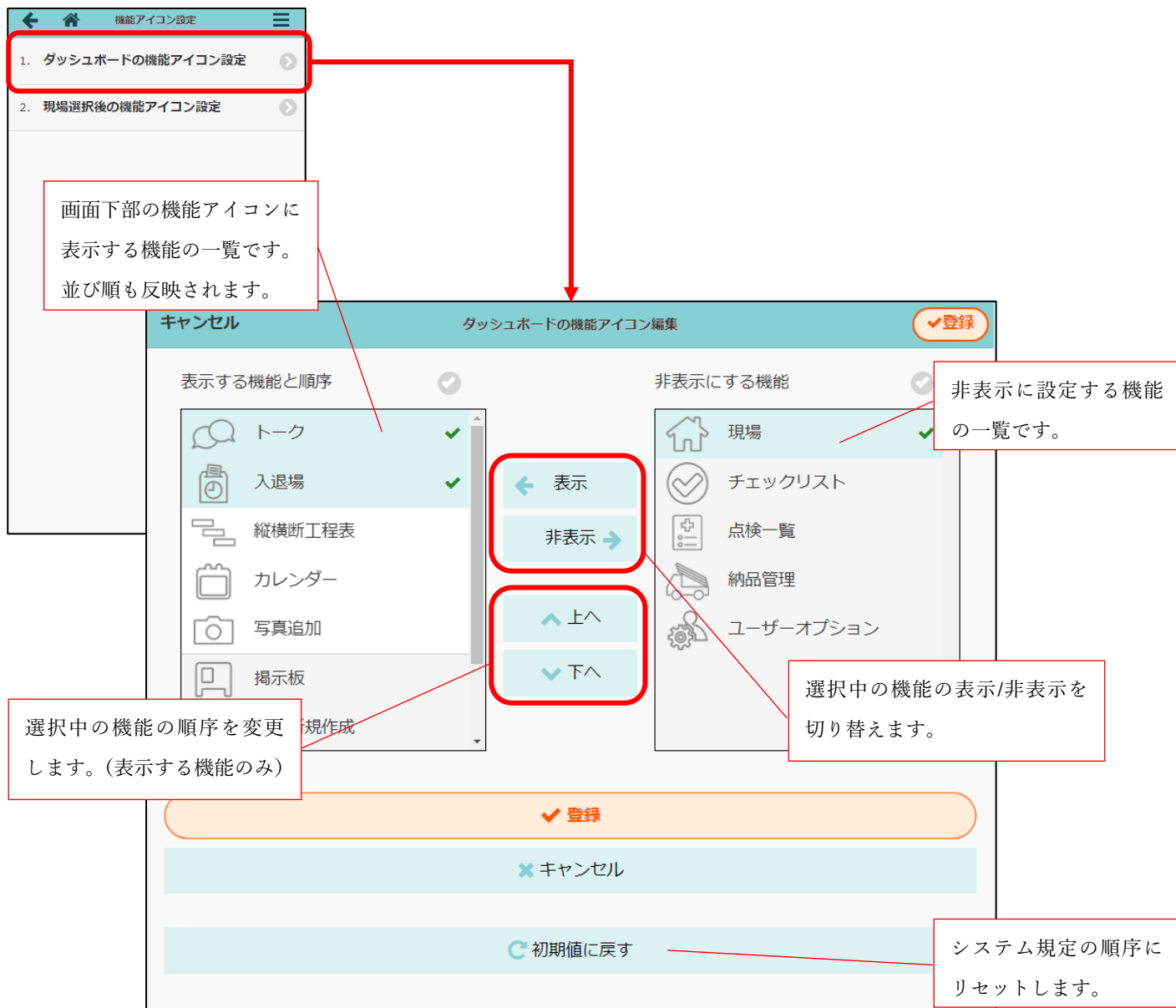
- 連携済みの現場で「現場名」「現場住所」「着工日」「完成日」「工事状態」のいずれかを更新すると Log System 側現場の各情報が自動的に更新されるようになります。
- 連携済みの現場は、Log System 側では現場情報の変更ができなくなります。連携済みの現場 Plus 側現場で現場情報を変更する必要があります。
- 現場 Plus 側で連携済みの現場を削除しても、Log System 側の現場は連携は解除されませんが、削除されません。

2. 機能アイコン設定（画面下部の各種アイコンの設定）

2-1 機能アイコンの表示・非表示、並べ替えに対応

- ユーザーオプションで、ダッシュボードや現場選択後に画面下部に表示される機能アイコンの表示・非表示の設定と、並べ替えができるようにしました。





3. 入退場

3-1 入場後の KY 活動の表示・編集

3-1-1 入退場ダッシュボードの入場中タブ

入場時に入力した作業内容、KY 活動が表示されます。

作業内容、KY 活動を編集できます。

OK ボタンで更新

- 入退場ダッシュボードの入場中タブで KY 活動の表示・編集をできるようにしました。
- 作業内容、予想される危険は、リストから選択することができます。

3-1-2 入退場ダッシュボードの入場履歴タブ

入退場	
13 (木)	品川邸 新築工事 ⌚ 10:00 ⌚ 12:00 先行配管 KY活動 時間編集 KY編集
14 (金)	
15 (土)	

入退場

13 品川邸 新築工事

⌚ 10:00 ⌚ 12:00

先行配管 [KY活動](#)

作業内容・KY情報の編集

作業内容 リストから選択

先行配管

予想される危険 リストから選択

・鉄筋による裂傷
・不明確な指示による事故

危険防止策

・手袋を着用する

OK キャンセル

現場 掲示板 トーク 入退場 写真追加

OK ボタンで更新

- 入退場ダッシュボードの入場履歴タブでも KY 活動の編集をできるようにしました。
- 作業内容、予想される危険は、リストから選択することができます。

3-2 同日中の複数回入退場

- 今までは2回目以降の入場は、直前の退場を取り消していましたが、今回の対応により複数回入退場の記録を残せるようにしました。
- それぞれの入退場時間が記録できます。

3-2-1 現場ごとの入退場履歴

1 度目の入退場履歴

2 度目の入退場履歴

- 1 度目の入場の入退場日時が早い順に履歴が表示されます。

3-2-2 入退場履歴検索

←

🏠

入退場履歴検索

≡

検索条件

現場未選択

現場 進,清瀬 拓郎,保谷 大輔

2023年7月

🔍 検索

検索結果 (4件)

日付	現場名	会社名	入場者名	入場時間	退場時間	作業内容	KY活動	選択
7/13		 株式会社秋津		9:00 	12:00 	足場組立	表示	
				13:00 	15:00 		表示	
7/13		 株式会社秋津		10:00 	12:00 	ボード開口	表示	✓
				13:00 			表示	

1件選択中

✕ クリア

✓ 全選択

🔒 ロック

🔓 解除

1 度目の入退場履歴

2 度目の入退場履歴

それぞれの入退場履歴
に対してロック可能

- 1 度目の入場の入退場日時が早い順に履歴が表示されます。
 - それぞれの入退場履歴に対してロックをかけることができます。
- 例) 1 回目 10:00～12:00：ロック、2 回目 13:00～15:00：未ロック

3-2-3 入退場ダッシュボードの入場履歴タブ

12 (水)	品川邸 新築工事 ⌚ 9:00 ⌛ 12:00 外部配管 KY活動
	⌚ 13:00 ⌛ 16:00 KY活動
13 (木)	品川邸 新築工事 ⌚ 10:00 ⌛ 12:00 先行配管 KY活動

- 1 度目の入場の入退場日時が早い順に履歴が表示されます。

3-2-4 同日 2 回目以降の入場時に KY 活動の入力設定

入退場管理

入退場管理機能	有効
協力業者へ現在の入場者の公開	公開しない
同日再入場時の KY 入力	入力しない
入退場履歴の自動ロック	無効
入場時の必須項目	必須項目なし

履歴検索 当日掲示板登録

キャンセル 入退場設定 保存

入退場管理

入退場管理機能 有効

協力業者へ現在の入場者の公開 ? 公開しない

同日再入場時の KY 入力 ? 入力しない

入退場履歴自動ロック ? 無効

「同日再入場時の KY 入力」を追加

- 入退場設定に「同日再入場時の KY 入力」を追加しました。
- 「入力する」を選択した場合、同日 2 回目以降の入場時、作業内容、KY 活動を入力します。
 - 前回入場時に入力した作業内容、KY 活動があらかじめ入力された状態となります。
- 「入力しない」を選択した場合、作業内容、KY 活動は未入力状態で入場します。
- 元請管理者様は、初期設定→現場情報設定より、初期値を設定できます。

3-2-5 Excel 出力

日付	現場名	会社名	入場者名	入場時間	退場時間	作業内容
2023/07/12	品川邸 新築工事	株式会社 室町工務店	現場 進	9:00	12:00	外部配管
				13:00	16:00	
2023/07/13	品川邸 新築工事	株式会社秋津	清瀬 拓郎	9:00	12:00	足場組立
				13:00	15:00	

- 入退場履歴の Excel も複数回入退場に対応しました。
- 同日 2 回目以降の入退場履歴には、日付、現場名、会社名、入場者名は出力されません。

3-3 入退場履歴の自動ロック



- 入退場設定に「入退場履歴の自動ロック」を追加しました。
- 「有効」を選択した場合、入場した時点でロックがかかります。ロックがかかった履歴は、入退場時間の変更は不可となります。
- 「無効」を選択した場合、自動でロックはかかりません。
- 元請管理者様は、初期設定→現場情報設定より、初期値を設定できます。

3-4 入退場時の通知対応

- 現場に入場、退場した際、元請現場担当者に通知をするようにしました。
- 協力業者ユーザーには通知しません。
- メール、アプリ通知に対応しました。

3-4-1 メール・アプリ通知受信設定

キャンセル		メール・アプリ通知受信設定	✓登録
点検結果確認依頼		受信する	☐
入退場			
入場時	受信しない		☐
退場時	受信しない		☐
写真			
アップロード	受信する		☐
「いいね！」の通知		受信する	☐
図面			

- 入退場の各通知は、ユーザーオプションの「メール・アプリ通知受信設定」にて個別に受信する、受信しないを設定できます。
- デフォルトは「受信しない」です。

3-4-2 通知例

入場時	退場時
 [入場]株式会社 室町工務店 現場 進 (7/13 今 16:00) 田町邸 新築工事[入退場] - 株式会社 室町工務 店 現場:田町邸 新築工事 作業内容:先行配管	 [退場]株式会社 室町工務店 現場 進 (7/13 今 16:01) 田町邸 新築工事[入退場] - 株式会社 室町工務 店 現場:田町邸 新築工事 作業内容:先行配管

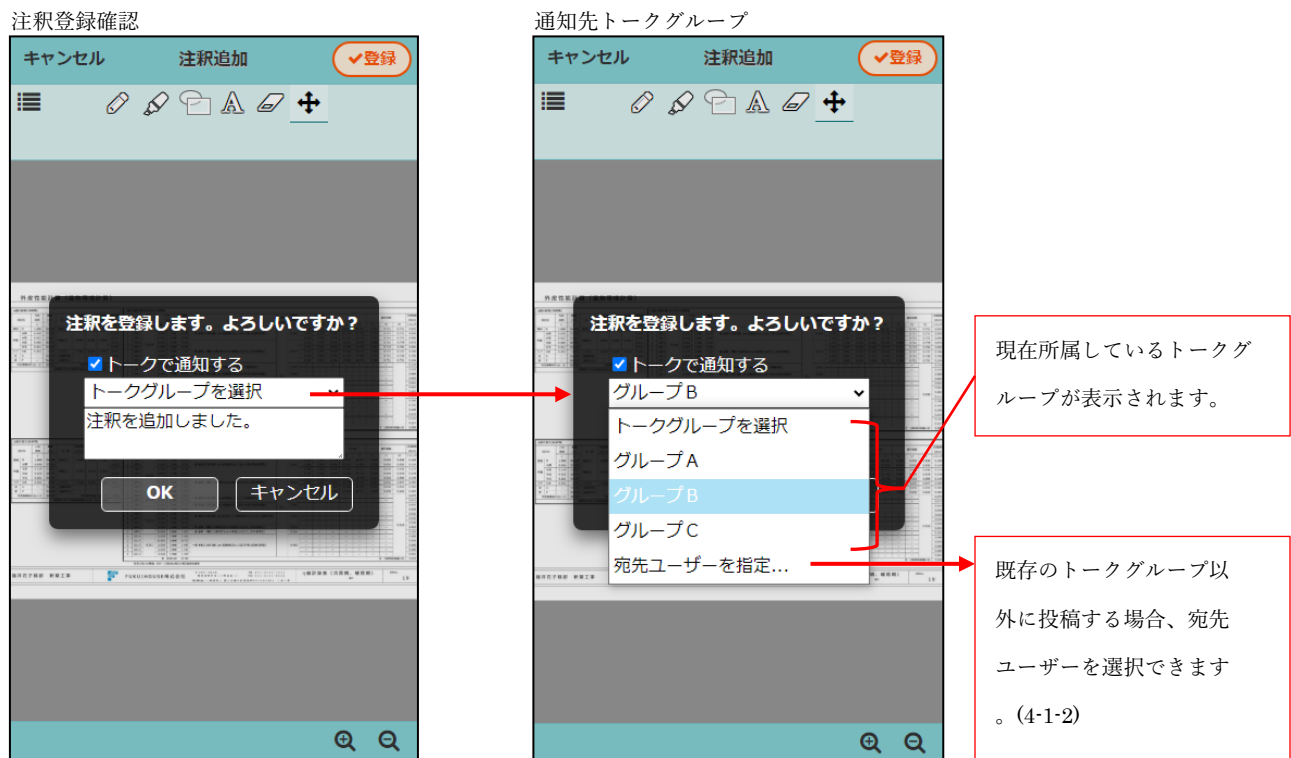
- 入退場したユーザー名、日時、現場、作業内容が通知されます。

4. 写真・図面・書類

4-1 注釈登録時のトーク通知

- 注釈を登録する際にトークグループにメッセージを投稿できるようにしました。
- トークの通知により、注釈が付けられたことを知ることができます。

4-1-1 注釈登録確認



- 注釈を登録する際に、「トークで通知する」にチェックをつけることで、指定したトークグループにメッセージを投稿することができます。
- 投稿先のトークグループは、現場に紐づいた、自分が所属するトークグループから選択することができます。
- 既存のトークグループ以外に投稿する場合、宛先ユーザーを選択することができます。(元請ユーザー様のみ)

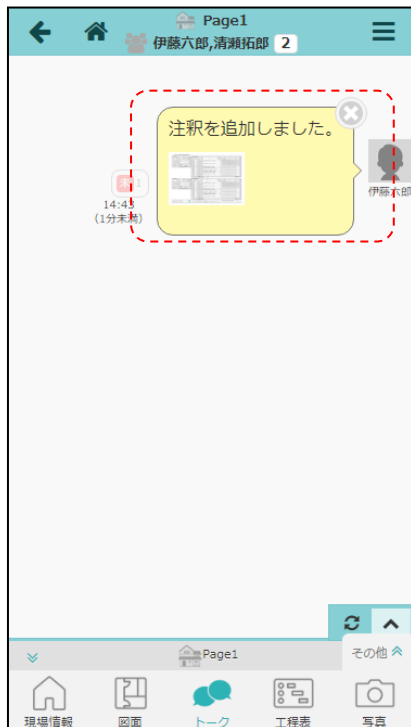
4-1-2 宛先ユーザー選択

- 指定したユーザーが参加するトークグループを新たに作成し、メッセージを投稿できます。
- 指定したユーザーが参加するトークグループがすでにある場合は、既存のトークグループに投稿します。
- 元請ユーザー様のみご利用いただけます。



- 現場に参加している有効なユーザーを 50 ユーザー単位に表示します。
- 検索条件を指定してユーザーを検索することができます。
 - 社員タブ
 - ◇ キーワード：ユーザー（姓名・カナ）
 - 協力業者タブ
 - ◇ キーワード：協力会社（姓名・カナ）、ユーザー（姓名・カナ）
 - 協力業者会社タグおよび業種

4-1-3 トーク詳細画面



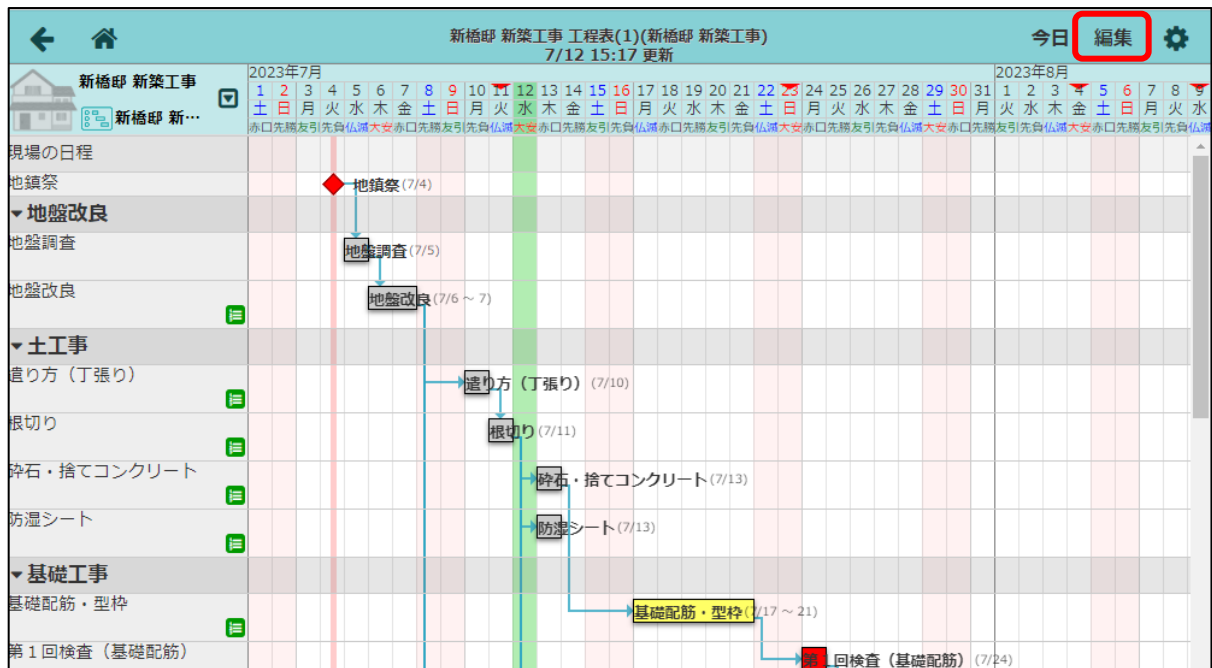
- 注釈を登録する際に選択したトークグループに投稿します。
- トークの通知設定に応じてトークグループに参加しているユーザーに通知されます。
- 写真・図面・書類上のファイルと、投稿したメッセージの添付ファイルはコピーではなく同じファイルとなります。写真・図面・書類上でファイルを削除すると、添付ファイルも削除されます。（トークメッセージを削除した場合は、写真・図面・書類上のファイルは削除されません。）
- 協力業者へ向けてメッセージを投稿した場合で、以下に当てはまる場合、協力業者がファイルのダウンロードや閲覧ができない場合があります。
 - フォルダの閲覧が制限された協力業者がファイルを表示した場合
 - ◇ メッセージは確認することができます。
 - ◇ サムネイルおよびプレビューは表示されません（NoImage と表示されます）。
 - ◇ 添付ファイル一覧には表示されません。
 - 協力業者に対してダウンロードが許可されていないファイルを投稿した場合
 - ◇ サムネイルおよびプレビューは表示されます。
 - ◇ 添付ファイル一覧にも表示されますが、ダウンロードはできません。

4-2 写真台帳 Excel 出力

- 写真台帳 Excel 出力の処理速度を改善しました。

5. 工程表

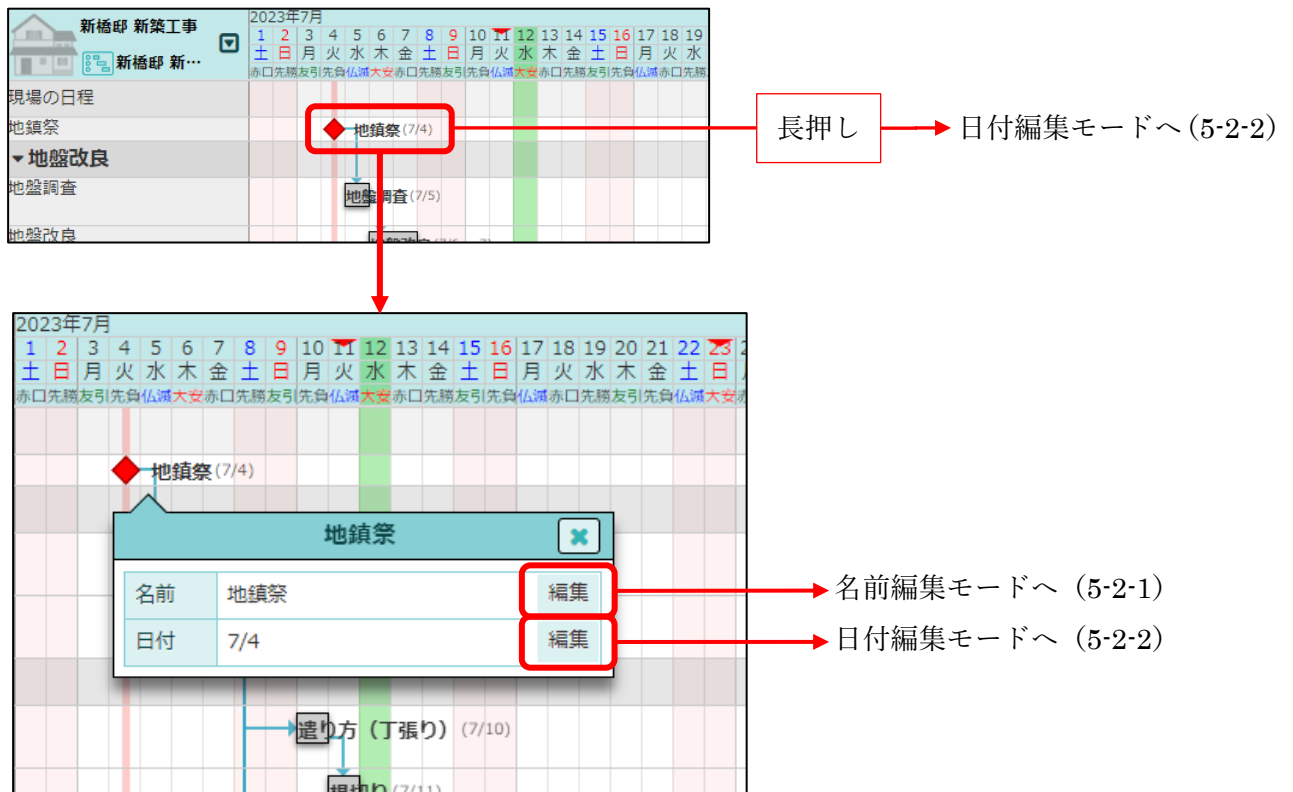
5-1 編集ボタン



- 工程表画面に「編集ボタン」を追加しました。クリックすると、PC 版の工程表編集画面に遷移します。
 - 編集ボタンは、画面幅が十分に広いときのみ表示されます。
 - 元請ユーザー様のみご利用できます。

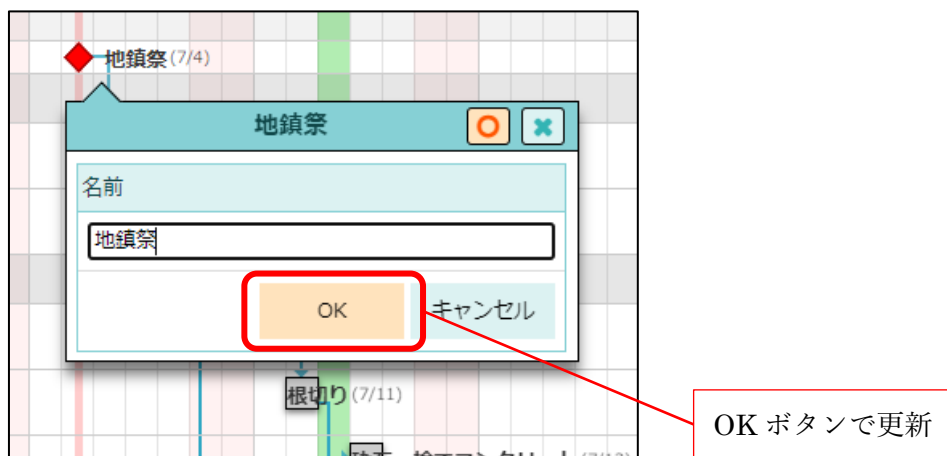
5-2 マイルストーンの編集

- 工程表上でマイルストーンの名前や日付の確認・編集を行えるようにしました。
 - 編集を行えるのは元請ユーザー様のみとなります。



- 工程表上のマイルストーンをクリックすると、詳細ポップアップが表示されます。
- マイルストーンを長押しすることで、日付編集モードへ切り替えることができます。

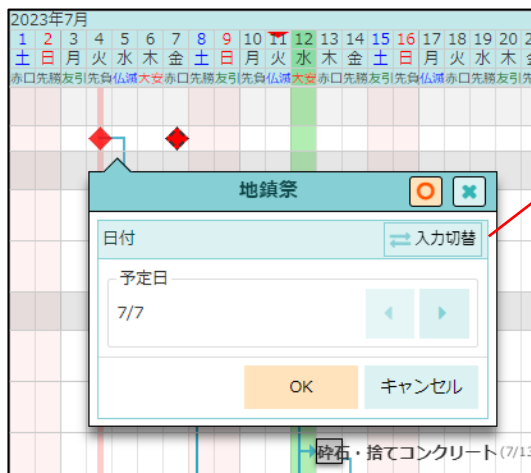
5-2-1 名前の編集



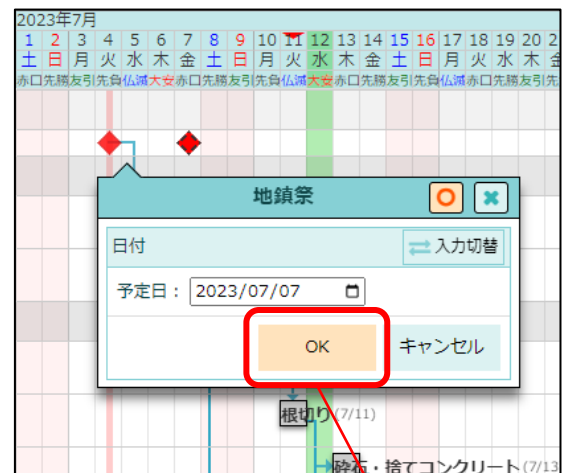
- マイルストーンの名前を変更することができます。

5-2-2 日付の編集

前後ボタンによる移動モード



直接入力モード

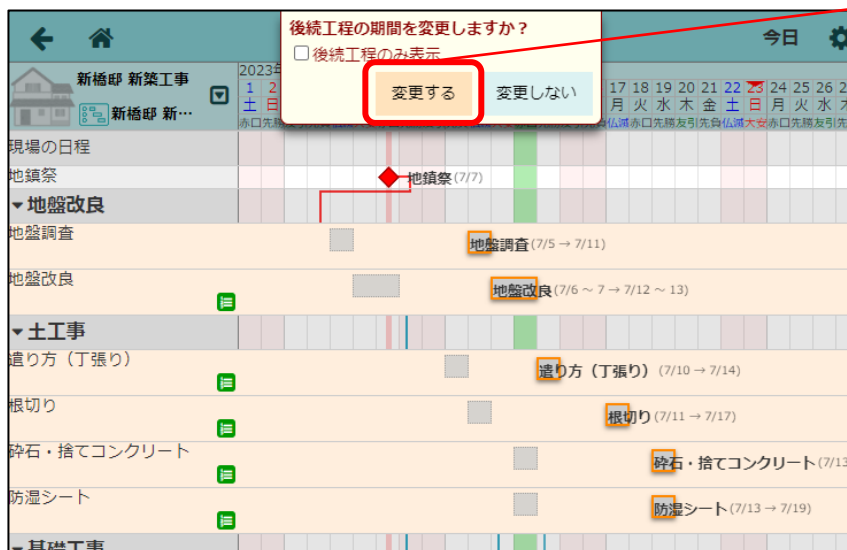


ドラッグによる移動



OK ボタンで更新

後続工程の期間変更確認モード



「変更する」を選択で、
マイルストーンの移動に合
わせて、全ての後続工程の期間
が変更される

- マイルストーンの日付を変更することができます。
- 以下の3つの方法で日付の移動・指定を行うことができます。
 - 前へ/後ろへボタンでの移動
 - 日付を直接入力しての指定
 - ドラッグによる移動
- マイルストーンの日付変更後、後続工程の日程にずれが生じる場合、後続工程の期間も同時に変更するかどうかを選択することができます。

6. トーク

6-1 非公開現場でのトーク



- 協力業者に非公開となっている現場のトークで、協力業者にメッセージを送信しようとした際に、警告メッセージが表示されるようにしました。
 - メッセージの送信は、従来通り行うことができます。
 - 現場が公開中になるまで協力業者はメッセージを確認することはできず、通知も送信されません。

6-2 トーク検索

- トーク検索画面の表示速度を改善しました。

7. 点検

7-1 チェックリストの分類をすべて「該当なし」にする

1	2	3	4
○	-	-	-

1-1 水道配管

1-1

1-1 水道配管

問題なし

1-2 ガス配管

1-3 タイル

1-4 壁紙

既に結果が入力済みの項目は、「該当なし」にならない

分類内の項目が「該当なし」になる

- 点検実施中のチェックリストにて、分類内にある全てのチェック項目を一括で「該当なし」にするオプションを追加しました。
 - 既にチェック結果の○×が入力されている項目については、変更されません。
 - 各項目に登録済みのコメントや写真は、「該当なし」になっても削除されません。

8. ダッシュボード

8-1 所属元請グループ担当現場

変更前

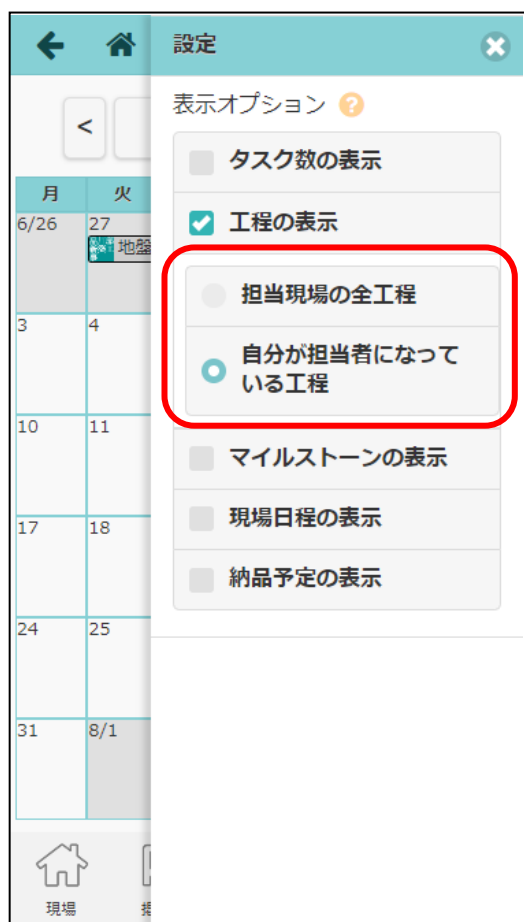


変更後



- ダッシュボードの所属元請グループ担当現場タブに、所属している具体的な元請グループ名を表示するようにしました。

9. 現場カレンダー



- 表示する工程を選択できるようにしました。
- 「担当現場の全工程」、「自分が担当者になっている工程」から選択できます。

10.一括取込

- 「利用社員」「協力業者社員」「協力業者会社」「現場」の一括取込での動作を変更し、一括取込完了後に通知が届くようにしました。
- 一括取込時の取込履歴を確認できるようにしました。

10-1 一括取込履歴一覧画面の表示

The diagram illustrates the navigation path to the batch import history screen. It starts with a menu containing five items: 1. 業種 (一括取込・更新), 2. KYリスト (一括取込・更新), 3. 利用社員 (一括取込・更新), 4. 協力業者 (一括取込・更新), and 5. 協力業者社員 (一括取込・更新). A red arrow points from the '一括取込・更新' button in the menu to the '一括取込履歴' button in the '利用社員 一括取込・更新' screen. From there, another red arrow points to the '一括取込履歴一覧' screen.

一括取込履歴一覧

3か月前までの一括取込での履歴一覧が表示されます。

取込日付	取込区分	取込者	ステータス	対象数	詳細
7/13 15:07	利用社員	現場 進	完了	10	詳細
7/13 10:10	協力業者会社	塚本 裕貴	完了	10	詳細
7/13 10:09	利用社員	現場 進	完了	1	詳細
7/12 16:41	住宅現場	現場 進	完了	2	詳細
7/12 15:52	協力業者会社	現場 進	完了	1	詳細
7/12 15:47	協力業者会社	現場 進	完了	1	詳細
7/12 15:45	協力業者社員	現場 進	完了	1	詳細
7/12 15:44	利用社員	現場 進	完了	2	詳細

- 3 か月前までの一括取込履歴一覧が表示されます。
- 一括取込が完了するまでは、取込者は再度同じ機能の一括取込を行うことができません。

10-2 一括取込履歴詳細画面の表示

一括取込履歴一覧

一括取込履歴一覧					
3か月前までの一括取込での履歴一覧が表示されます。					
取込日付	取込区分	取込者	ステータス	対象数	詳細
7/13 15:07	利用社員	現場 進	完了	10	詳細
7/13 10:10	協力業者会社	塚本 裕貴	完了	10	詳細
7/13 10:09	利用社員	現場 進	完了	1	詳細
7/12 16:41	住宅現場	現場 進	完了	2	詳細
7/12 15:52	協力業者会社	現場 進	完了	1	詳細
7/12 15:47	協力業者会社	現場 進	完了	1	詳細
7/12 15:45	協力業者社員	現場 進	完了	1	詳細
7/12 15:44	利用社員	現場 進	完了	2	詳細

取込完了メール通知

差出人 - 現場Plus <test@komuten.jp> 返信 転送 アーカイブ 迷惑マークを付ける 削除 その他 ☆

宛先 自分 16:36

件名 【一括取込】利用社員の取込が完了しました - 現場Plusサービス

現場 進 様

利用社員の一括取込が完了しました。

以下のページにアクセスし、ご確認ください。

一括取込履歴詳細ページ
<http://localhost:8080/dev/dyapp/t/X2719/member/setting/bulkimporthistory/detail/10163>

利用社員 一括取込履歴								
10件取込みました。								
No.	操作	社員名 (姓)	社員名 (名)	社員名 (セイ)	社員名 (メイ)	メールアドレス	パスワード	電話番号
1	追加	元請	太郎1	モトウケ	タロウ	member1@example.co.jp	設定完了	000-1234-5678
2	追加	元請	太郎2	モトウケ	タロウ	member2@example.co.jp	設定完了	000-1234-5678
3	追加	元請	太郎3	モトウケ	タロウ	member3@example.co.jp	設定完了	000-1234-5678
4	追加	元請	太郎4	モトウケ	タロウ	member4@example.co.jp	設定完了	000-1234-5678
5	追加	元請	太郎5	モトウケ	タロウ	member5@example.co.jp	設定完了	000-1234-5678
6	追加	元請	太郎6	モトウケ	タロウ	member6@example.co.jp	設定完了	000-1234-5678
7	追加	元請	太郎7	モトウケ	タロウ	member7@example.co.jp	設定完了	000-1234-5678
8	追加	元請	太郎8	モトウケ	タロウ	member8@example.co.jp	設定完了	000-1234-5678
9	追加	元請	太郎9	モトウケ	タロウ	member9@example.co.jp	設定完了	000-1234-5678
10	追加	元請	太郎10	モトウケ	タロウ	member10@example.co.jp	設定完了	000-1234-5678

11.ストレージ使用量

- ストレージ使用量の再集計に対応しました。
 - 最新のストレージ使用量を確認したい場合、再集計が必要になります。

11-1 ストレージ使用量の再集計

The screenshot shows the 'Storage Usage Confirmation' menu item selected in the left sidebar. The main content area displays the 'Storage Usage Confirmation' screen. The screen has two tabs: '現在' (Current) and '現場ごと' (By Site). The '現在' tab is active, showing a message about the current storage usage as of 2023/7/13 13:30. A '再集計' (Refresh) button is highlighted with a red box. Below the message is a progress bar showing 0.006/50 GB. A table titled '使用状況' (Usage Status) shows the following data:

項目	値
契約ストレージ容量	50 GB
使用量合計	0.006 GB
空き容量	49.994 GB

The '現場ごと' tab is also visible, showing a message about the storage usage by site as of 2023/7/13 13:51. A '再集計' (Refresh) button is highlighted with a red box. Below the message is a table showing the usage by site. The table has columns for '現場名' (Site Name), 'ステータス' (Status), and '使用量(MB)' (Usage (MB)). The table lists 19 sites, with the first 8 sites shown in the screenshot:

現場名	ステータス	使用量(MB)
品川駅 新築工事	商談中	0
田町駅 新築工事	商談中	0
浜松町駅 新築工事	商談中	0
新橋駅 新築工事	契約済	0
有楽町駅 新築工事	着工前	0
東京駅 増設工事	着工前	0
神田駅 新築工事	工事中	0
秋葉原駅 新築工事	工事中	0

- 再集計中は、集計完了まで再度集計できません。

12.その他

12-1 Android アプリ（最新バージョン 1.23.0700）

- ファイルアップロード時、ファイルアップロード管理の進捗タブにファイルが残ったままになる場合がある不具合を修正しました。

12-2 iOS アプリ（最新バージョン 1.23.0700）

iOS アプリで、未アップロードの撮影写真の復元に対応しました。

12-2-1 未アップロードの撮影写真の復元



- アップロード前に現場 Plus の通知をタップしアップロード画面を離れるなどをして未アップロードの撮影写真がある場合、撮影写真を復元してアップロードすることができます。
- 上記の状態でアップロード画面を開くと「撮影写真の復元」ダイアログが表示されます。
- 「削除」を押すと、復元されずに撮影写真は削除されます。

12-3 縦横断工程表

- 「担当」表示にした際の工程の並び順を改善しました。
- 同じ現場、同じ工程グループごとにまとめて表示するようにしました。
 - 各現場の工程を「現場の絞り込み」で指定した並び順に従って表示するようにしました。

12-4 不具合の修正

- 写真をリサイズしてアップロードする場合、一部スマートフォンでリサイズに失敗する場合がある不具合を修正しました。

以上

現場 *Plus* 